

09

阪南大学と取り組む文化財を活かした地域づくり 2014

ワークショップ 「せんなんタコあかり」を考える

何をみんなに見てもらおう？



2日間の話し合いで決める「せんなんたこあかり」

残る企画はあとひとつ「せんなんタコあかり」のみとなりました。このプロジェクトと取り組みの成果を、一人でも多くの人に知ってもらうことが目標の成果展で、いまのところ、機会は3回。8/29に実施されるサンセットフェスタ、10月に予定されている商工会の地産地消イベント、来年1月に埋蔵文化財センターでの企画展示です。

これまでの取り組みの成果展なので、何をどのようにして伝えるのか？けっこう難しい作業です。

ワークショップ①

7/24 10:00～12:00 参加者：13名

「来場者に何をしてもらおう？」

ワークショップ②

7/31 10:00～12:00 参加者：10名

「成果展のデザインを決める」



1日目 サンセットフェスタとは？

これまでの成果を多くの人に知ってもらうのがこの取り組みの目標なのですが、その舞台であるサンセットフェスタについて、主催団体の方から説明を受けました。

開催日は8月29日で、会場はマーブルビーチ。ステージイベントを野外で、しかも夕日を背景に行われます。暗くなるとウミホタルの観察会も実施。会場では泉南市の新たな名産品であるサトイモ焼酎の紹介や、岡田浦漁協によるタコ料理なども楽しめるようです。

1日目 来場者に何をしてもらおう？

ここまでの成果を、一人でも多くの人に知ってもらうには…どんな行動をとってもらおうのがいいのか考えてみました。

パネル展示にする、映像を見せる、画像を見せるなどするとその後どうなるのかを考えてみると、写真

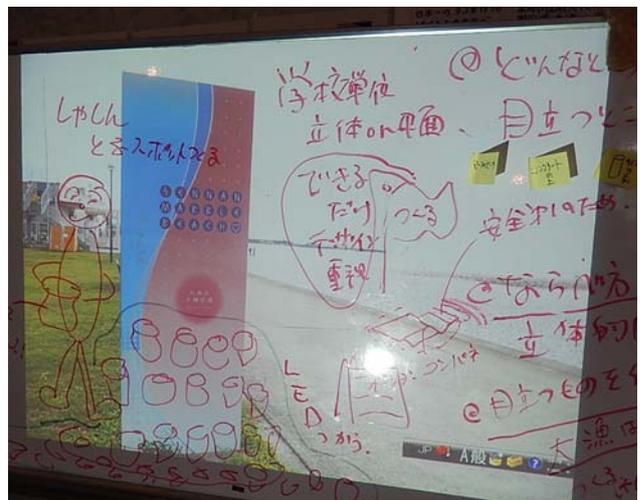
撮影をしたくなる場所づくりをすることになりました。消えてなくなる記憶ではなく、写真として記録に残してもらえば、SNSで拡散も見込めます。

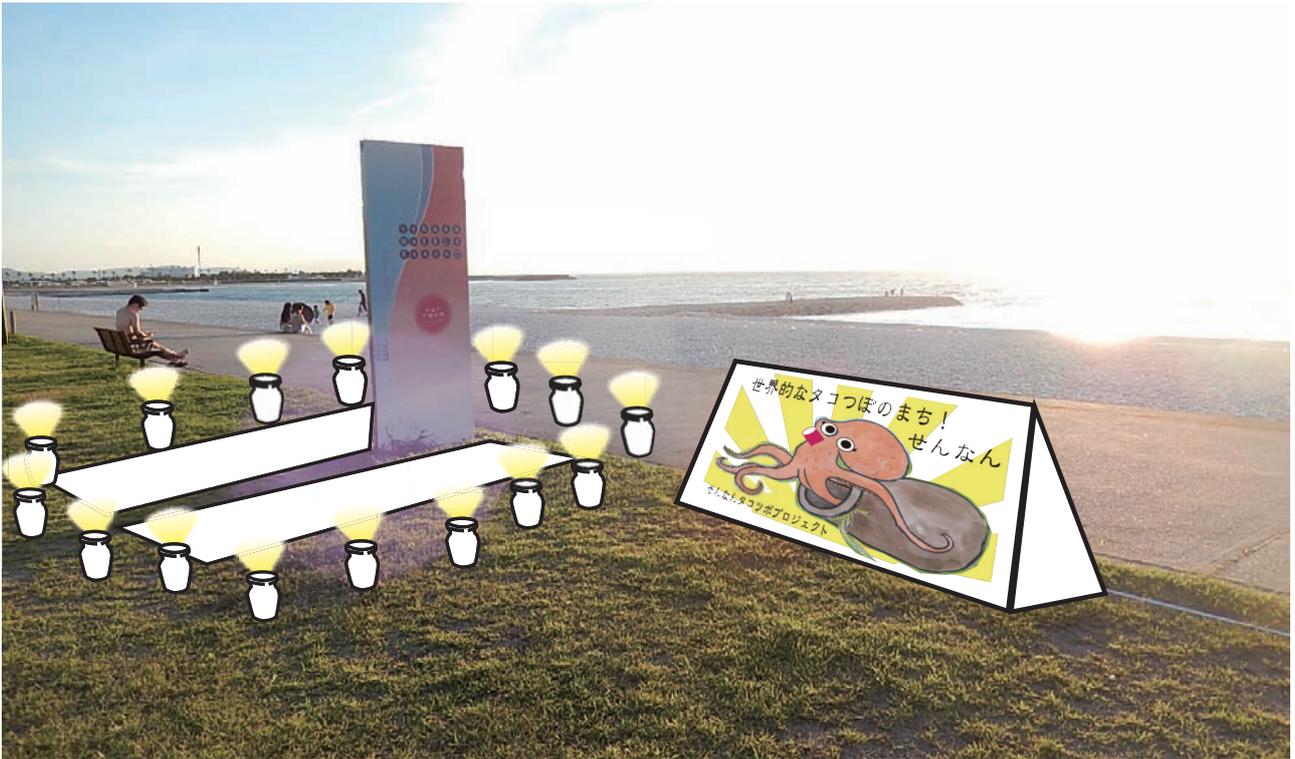
それならと、場所を考えているうちに、広場にあるモニュメントを使用することで決定。夕日がきれいな撮影スポットとして絶好の位置だからです。モニュメントの周りに、高低差をつけてタコ壺を並べることにしました。

1日目 とにかく目立つ工夫を！

当日は狭い会場に、たくさんのブースが出ます。ひっそりとしているだけでは埋もれてしまうので、何とか目立つ方法を考えてみることにしました。

まずはLED照明の使用。クリスマスなどで見かけるものでイルミネーションにする案です。加えて「大漁旗を作ろう！」の意見も。デザインは、次回までの宿題としました。





↑サンセットフェスタでの展示風景の予想図

↓旗のデザイン（みさなん案+事務局案）

2日目 壺の並べ方をイメージする

前回決まった場所でのタコ壺の見え方を、館内で再現してみました。高低差がないので、あまりみばえがしないとの意見もありましたが…小学生たちの作品の安全を優先することにしました。展示に要する時間は2人で30分。撤収だともう少し時間がかかるかと思われます。

2日目 LED電球にするか？

前回の話し合いのあと、日没の時間帯はどのような感じなのかを事務局で確認してみました。上の写真が、日没直前のものですが、思ったよりも明るい状態です。当日の日没は6:30。ステージイベントは7時頃までで、その後はウミホテルの観察会に人が流れます。おそらかなのですが、真っ暗になったころには、人はほとんど残っていないと考えられます。これを前提に考えたところ、LEDの電飾は使用しないことにしました。光っていること自体気づいてくれないかもしれないからです。その代わりに当初のローソク案に回帰。メンバーが作った15個のタコ壺のなかにローソクを入れて燈すことになりました。



2日目 旗にするか？

旗のデザインは、5つの案が出ました。かなりみなさん前のめり！のようです。あれこれデザインの意見が出たところで、そもそも論に話は進みました。旗を作るのではなく、この旗で何かのメッセージを伝えよう！という意見です。つまり、目立つことで人を引き寄せ、今回の取り組みの成果をメッセージとして伝えることができるデザインに使用という意見です。あれこれ考えるうちに出たのが上の絵。メッセージは「世界的なタコつぼのまち！せんなん」。旗ではなく、地上に設置することになりました。

一緒に取り組んでみたい方 大歓迎です！
 問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで
 TEL:072-483-6789 maibun@city.sennan.lg.jp

■次回のお知らせ「旗づくり」
 日時 8/20(木) 10:00～16:00 埋文にて
 内容 旗づくり(汚れてもいい服装で)
 *おひるごはんが必要になると思います